



～再生エネルギーと震災伝承・地域創生を学ぶ～ 杜の都バイオマスエナジー・蒲生なかの郷愁館



- 発電容量：75.0MWの設備容量を持ち、年間約5億5,330万kWhの電力を供給します。これは一般家庭約17万世帯分の年間使用電力量に相当します。
- 使用燃料：主に木質ペレットとパーム椰子殻（PKS）を燃料としています。これらのバイオマス資源を活用することで、カーボンニュートラルな発電を実現しています。
- 環境への配慮：バイオマス発電は、再生可能エネルギーの一つであり、二酸化炭素の排出を抑制する効果があります。
- 地域復興への貢献：発電所が立地する蒲生北部地区は、東日本大震災で大きな被害を受けた地域です。発電所の建設と運営を通じて、地域経済の活性化と復興に寄与しています。
- 管理棟1階に『蒲生なかの郷愁館』を2024年3月に開館、震災の後、この土地を離れることになってしまった地域の方のために、地域の歴史と震災の記憶を後世に繋ぎ、また旧交を温めることのできる場所をご提供しています。こちらでは、この地区の旧4町内会で作られた「なかの伝承の丘保存会」の皆さまに説明者としてお話しいただくことも可能です（要予約。事前にご相談ください）

見学日

・通年（土日祝を除く）

適応条件

- ・料金：500円（税込み）／人
* 但し、『蒲生なかの郷愁館』は無料。
- ・適用人数：10人～50人
- ・所要時間：約90分

備考

・飲食禁止

予約・
問い合わせ先

仙台観光国際協会がお取次ぎいたします。
MICE推進課 TEL：022-268-9603 または
conv@sentia-sendai.jp

スケジュール一例

	-	【前日】 仙台市内で学会や研修
9:30	-	10:30 【翌日】仙台中心部からタクシーで約60分
10:30	-	12:00 杜の都バイオマス発電所にて施設見学（約90分）
12:00	-	13:00 近隣施設にて昼食
13:00	-	15:00 周辺施設を見学
15:00		帰路へ

テクニカルビジット